

令和2年度 山形県立博物館 特別展

奇妙で 変てこな 生きものたち

進化の迷宮へようこそ

ナグモ!!

2020年

9月26日(土)~

12月13日(日)

山形県立博物館

〒990-0826 山形県山形市霞城町1番8号
Tel 023-645-1111 Fax 023-645-1112
URL <http://www.yamagata-museum.jp/>

開館時間
休館日
入館料

午前9時~午後4時30分 (入館は午後4時まで)

月曜日 ※ただし11/2(月)特別開館、11/3(火)文化の日・無料開館、翌11/4(水)は休館、11/23(月・祝)は開館、翌11/24(火)は休館

大人300円 (20名以上の団体 150円)

学生150円 (20名以上の団体 70円)

※高校生以下は無料。障がい者とその付添いの方は無料。
「学生」には専門学校生等を含む。



主催:山形県立博物館

協力:一般社団法人 アマゾン資料館 仙台市八木山動物公園 宮城教育大学えるふえ 山形昆虫同好会 やまがたヤマネ研究会 個人 (五十音順)

奇妙で 変てこな 生きものたち

— 進化の迷宮へようこそ —



アルマジロ

この地球上には実に多種多様な生きものたちがくらしています。中には、何で？ どうして？ と首をかしげたくくなるような、奇妙で変てこな姿や暮らしをする生きものたちも見られます。

周りの環境に適応して生き残りをはかるためにとった戦略が、逆に“進化の迷宮”に入り込むきっかけとなったものたちなのです。

本展示会では、奇妙な色やかたち、変てこな姿、不思議な暮らしに着目してさまざまな生きものを取りあげ、その生存にかけた巧妙なしくみと逆に生じた不都合な面を対比することで、生きもの多様性に潜むおもしろさや不思議さを紹介します。



ナマケモン

奇妙な色やかたち



カメの骨格

カメのなかまは、びっくりすると頭や脚を甲羅のなかにひっこめて身を守ります。実は、前肢が背骨とあばら骨でできた甲羅の中におさまっている奇妙な姿をしています。

こんな動物たちの奇妙なかたちは、どんな意味をもっているのでしょうか。

変てこな姿



カブトガニ

カニのような甲羅をもつカブトガニは、実はクモのなかまです。体が硬いウロコでおおわれたセンザンコウも、帯状の甲羅（帯甲）でおおわれたアルマジロも、哺乳類のなかまです。

こんな迷宮に落ちこんだような変てこな姿には、多くの進化の謎が隠されているのです。

不思議な暮らし

じっと木の上で動かないスローライフなナマケモンや、少ない蓄えで冬を乗りきるヤマネは省エネ生活の達人です。

ヒマラヤ山脈を越えて渡りをするアネハヅルは、高々度を飛ぶために適応してきました。

こんな不思議な暮らしをする動物たちの、想像を超えた生き抜く知恵を紹介します。



アネハヅル



センザンコウ

記念講演会

10月31日(土) 東北文化の日(無料開館)
午後1時30分～午後3時 会場は本館講堂
【クジラ類の進化について】
講師：長澤 一雄 氏 (山形応用地質研究会)

記念イベント

- ①10月11日(日) 本館講堂 午後1時30分～午後3時
【化ける 隠れる だましのテクニック -生き残りをかけた虫の進化】
講師：横倉 明 氏 (山形昆虫同好会事務局長)
- ②11月23日(月・祝) 本館講堂、第3展示室
午前の部：午前10時～午前11時30分/午後の部：午後1時30分～午後3時
【手羽先骨格標本づくりで学ぶ鳥の進化】
講師：中村夢奈 氏 (やまがたヤマネ研究会代表)

展示解説会

- ①9月26日(土) ②10月17日(土)
 - ③11月8日(日) ④11月28日(土)
- 本館第3展示室にて
いずれも午後1時30分～午後2時

記念講演会、記念イベント、展示解説会は事前申し込みが必要です。詳しくはHPにてご確認ください。

交通案内

- ◆徒歩 JR山形駅より約10分
- ◆車 山形道山形蔵王ICより5km(約15分)
東北中央道山形中央ICより3km(約10分)
*正面駐車場10台(無料)

